



# 日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 199

平成25年3月8日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F

E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

**リレンザでショック死** 30代女性 他に2人副作用  
厚労省は2月27日、2009～12年に「リレンザ」を吸入した患者3人が副作用と見られるアレルギー性ショックを起こし、内1人が死亡していたと発表した。リレンザは年間推計170万人が使用している。

同省によると家族がB型インフルエンザに感染した30代女性が予防のため吸入したところ、数分後に呼吸困難となり間もなく死亡した。女性は気管支喘息の発症歴があり、リレンザ吸入当日には発熱と感染性衣原体による嘔吐もあったという。同省は薬使用上の注意書きに重大な副作用として「ショック」を加えるよう指導した。 2月28日 日経新聞

## 風疹対策のさらなる徹底呼び掛け

CRS 予防で課長通知

厚労省健康局結核感染症課は、先天性風疹症候群(CRS)の発生を予防するため、風疹対策の一層の徹底を求める課長通知を1月29日付で各都道府県に発出した。風疹が驚異的に流行している状況に際して、CRSの増加を食い止めるのが狙い。

通知では 風疹の定期接種対象者に対する予防接種の個別勧奨 妊娠可能年齢者への注意喚起 全数届け出対象疾患であることを小児科関連医療機関へ周知する などを求めている。

CRSの主な症状は、先天性心疾患、難聴、白内障など。国立感染症研究所によると、2000～05年、09年、11～13年の期間で報告されたCRSは25例。そのうち、17例(68%)の母親が妊娠中に風疹に罹患していた。その17例のうち1例を除く母親でワクチンを「打っていない」、もしくは「打ったか分からない」としている。

風疹の12年の報告数は2353例で11年の6倍超。13年も1月だけですでに154例の報告がある。通知では、妊婦の夫や子どもなど同居家族への予防接種の周知も呼び掛けている。

MEDIFAXdigest 2/8

## iPad耳鼻アプリ、医師ら開発

重症度判定、抗菌薬選定も自動で表示

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授の山中昇氏がネットワークジャービーと共同開発した「メディタルブック 目で見る耳鼻科感染症の治療戦略」。文字通り、耳鼻科感染症の重症度や推奨抗菌薬を患者所見のiPadへのタッチ入力だけで参照できるアプリケーション。対象となる疾患は、急性中耳炎、急性鼻副鼻腔炎、急性咽頭・扁桃炎といった日常で遭遇する疾患。診療ガイドラインや指針に準拠している。

例えば中耳炎の画面では、単純急性中耳炎、反復性中耳炎、乳幼児中耳炎など、それぞれの中耳炎の病態の位置付けをグラフで示し、タッチすると解説を表示。診断フローチャートでは、患者所見に対応する項目にタッチすると、スコアが加算されていき、重症度が表示される。次に重症度に応じた治療フローチャートが表示され、第1選択薬と投与量、投与期間が表示される仕組み。重症例では第3選択薬まで参照できる。

医師の判断の支援としての利用を想定しているほか、山中氏らは患者への説明や後進の指導にも活用している。例えば、母親に患児の鼓膜所見を示しながら、当アプリの画面で診断と重症度を解説。今後の治療をどう進めていくか、より深い理解を促している。

当アプリは、2013年1月よりアップル社が運営するウェブサイトAppStoreよりiTunes経由で購入、ダウンロードできる。

2月13日 m3.com臨床news

**当選への課題** 日医連が羽生田氏擁立を決定  
日本医師連盟は1月15日の執行委員会で、今夏の参院選比例代表の組織内候補として日本医師会副会長の羽生田俊氏を擁立することを決定した。22日には自民党の公認も決定し、精力的に全国を回っている。日医連にとって「3連敗」はできない選挙戦。羽生田氏の当選には医師会の一致団結が必要不可欠だ。

分散した票の取りまとめが課題

2010年の参院選で、日医連は当初、自民党現職の組織内候補である西島英利氏の推薦を決定していた。しかし、同年春の日医会長選で原中勝征氏が当選し、方針転換した。民主党の安藤高朗氏を「推薦」、西島氏を「支援」、当時みんなの党の清水鴻一郎氏も「支援」として選挙に臨んだが、結果は3候補とも落選。当時、日医連の副委員長だった横倉義武委員長(日医会長)は「3人に分散したので、会員も戸惑いが生じたのではないかと反省している」と分析した。候補者を1人に絞れば各党の当選ラインを優に超える数字だった。

ただ、10年参院選の3候補の票を合計しても、07年参院選に日医連の組織内候補として臨んだ自民党の武見敬三参院議員の18万6616票には及ばない。今回の当選ラインがどの程度になるかは不明だが、羽生田氏の当選を確実にするためには、一本化を図るとともに、さらなる上積みも必要だ。

MEDIFAXdigest 2/5

## アレルギー：「火付け役」が火消し

東京医科歯科大チーム解明、新たな治療法に道  
アトピー性皮膚炎やぜんそくなどのアレルギーを悪化させる「火付け役」と考えられていた原因物質が、逆に炎症を抑制する「火消し役」に変わる仕組みを、東京医科歯科大の鳥山(からすやま)一教授(免疫アレルギー学)のチームがマウスの実験で発見したと発表した。アレルギー疾患の新たな治療法の開発が期待できる。21日付の米科学誌イミュニティ(電子版)に掲載された。

アレルギー性炎症を抑制・終了させる仕組みは十分解明されておらず、治療の大半は対症療法となっている。

チームは慢性アレルギー炎症を起こしたマウスの耳の細胞で、さまざまな種類の白血球の動きを調べた。その結果、細胞内で炎症を起こす白血球の「炎症性単球」が別の白血球の指令を受けて、アレルギー物質を取り込んで壊す「火消し役」に変わっていることが判明した。 2月22日(金) 毎日新聞社

**KYOWA KIRIN**

アレルギー性疾患治療剤 (医師処方箋必要)

# アロック錠<sup>2.5</sup>

ALLELOCK Tablets オロバタジン塩酸塩錠

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

【資料請求先】

**協和発酵キリン株式会社**

東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185

www.kksmile.com

2009年5月作成  
©登録商標